

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：タイ王国

日付：2017年6月2日

報告書名：平成27年度日本NGO連携無償資金協力 完了報告

平成27年度 日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

2017年6月2日

事業名	「タイ・ミャンマー国境の難民キャンプにおけるコミュニティ図書館を通じたノンフォーマル教育支援事業」 Non-formal education project through community libraries in the refugee camps along the Thai-Myanmar border		5 lines
事業対象地	タイ王国 ミャンマー国境9ヵ所の難民キャンプ		
事業期間	事業期間：2016年3月31日～2017年3月30日（12ヵ月）		
公的資金種別	平成27年度 日本NGO連携無償資金協力		
総支出・返還金	・総支出：30,757,051円（返還額：174,091円）		
プロジェクト目標および、その達成度	「難民キャンプの住民が読書推進活動を通じて、ライフスキルを身に着けるための知識と技術を習得している」ことを上位目標として事業を実施した。コミュニティ図書館のサービスの向上、学校やコミュニティでの読書環境の整備を通して、難民キャンプの住民の図書へのアクセスが改善し、読書を通じた知識、技術の習得に貢献した。事業期間内に延べ412,486人が21館のコミュニティ図書館を利用し、さらに、研修を受けた教員235人、青年ボランティア167人が、180校の学校、70ヵ所のキャンプ内地区等で読書推進を行った結果、学生や地域住民の読書を通じた学習、情報収集の機会が増え、知識や技術の習得に繋がった。		～10 line
実施内容 概要	（ア）コミュニティへの図書サービス活動 28,121冊の成人向け図書を購入し、21館の図書館に配架し、子ども向けのタイ絵本10タイトル、計1,280冊を購入し、カレン語、ビルマ語の翻訳シールを貼り付けて、各図書館に配布した。また、遠い地域に住む住民に向けて、70ヵ所の対象地域に移動図書箱の配布を行った。さらに、図書館員を対象に図書館サービスの改善を目指した研修会を実施した。	受益者数 年間図書館利用者:延べ412,486人	2/3 page
	（イ）学校教育の質の改善活動 学校教員を対象とした図書活用研修会をカレン系、カレニー系キャンプ含む9ヵ所で実施した。また学校教育における補助教材として使用可能な学習参考書を9ヵ所の難民キャンプに供与し、難民キャンプ内の28校の学校で、学校図書室の設備改善活動を実施した。		

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：タイ王国

日付：2017年6月2日

報告書名：平成27年度日本NGO連携無償資金協力 完了報告

	<p>(ウ) 青年による読書推進活動の実施 各難民キャンプで青年ボランティアを対象とした育成研修会を実施した。研修後、青年ボランティアによる様々な読書推進活動が行われた。</p>	
成果	<p>(ア) コミュニティへの図書サービス活動 活動を通じて、コミュニティ全体において図書サービスが改善されている。各図書館周辺に住む住民計232人へ聞き取り調査を行った結果、すべての住民から図書館の蔵書は住民のニーズに合致しているという回答を得た。また、21館すべての図書館で図書が適切に管理され、研修に参加した図書館員についても図書サービスを適切に実施していた。上記の活動を通して、図書館サービスの質が向上すると同時に、コミュニティ全体の住民が彼らのニーズに合った種類豊富な図書へアクセスできるようになった。</p> <p>(イ) 学校教育の質の改善活動 学校図書室の設備改善活動を実施し、教育の質を改善するための環境が整備されている。学校教員を対象とした図書活用研修会には、235人の教員が参加し、研修後調査では、参加者の74.5%が研修を通じて知識と技術を得ていることが分かった。また、教員に対する学習参考書のニーズ調査の結果、95%の教員が図書館にはニーズに合致した学習参考書があると回答した。設備改善を行った28校の学校の図書館について観察調査をした結果、86%の学校で問題がなかったことが分かった。</p> <p>(ウ) 青年による読書推進活動の実施 コミュニティでの読書推進活動への参加を通じて、青年が自主的に活動できる機会が増えている。青年ボランティア育成研修会後の質問紙調査では、参加者の79%が、知識と技術を習得していることが分かった。上記の活動を通じて、青年層の読書推進に関わる知識、技術を増やすと同時に、青年層がリーダーシップを含めた様々なライフスキルを身に着ける機会となっている。</p>	~1page
課題と対応策	<p>学校教員を対象とした図書活用研修会について理解度がキャンプによってバラつきがあり、理解度の値の低いメラ難民キャンプとバンドンヤン難民キャンプでは、参加者の70%以上が25歳以上の教員であることが分かった。このような若い教員にとっては、教員経験が浅い上、図書の活用方法についても研修だけでは十分にイメージがつかめず、理解度の低さに繋がったと推測する。事業2年目に向けて今年度以降の研修会では、各難民キャンプやその学校教育の事情に配慮した研修</p>	1/2

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：タイ王国

日付：2017年6月2日

報告書名：平成27年度日本NGO連携無償資金協力 完了報告

	<p>内容を提供する必要がある</p> <p>また、学校図書室設備改善について、図書の管理が容易ではない、図書の言語の見直しが必要、図書スペースが限られているなど、改善が必要な点について言及があり、事業2年次にフォローアップをする必要がある。</p>	
--	---	--